

大久保中学校による「さくらプロジェクト」

(8ページに関連記事)

CONTENTS

特集 子どもたちと地域のために

- 会長挨拶
- 各委員会活動報告
- 日 P 関東ブロック大会 茨城大会 参加報告
- 子どもたちと地域のために
- 日 P 全国大会 うずしお大会 参加報告
- 日立市教育振興大会 発表報告
- 寄稿 PTA との連携について
- 茨 P 連女性ネットワーク委員会研修会 参加報告
- 茨城県 PTA 振興大会表彰式典 受賞者紹介

日立市立小・中学校 P T A 連合会 会長挨拶

会長 小野智久



皆様こんにちは。日頃は日立市立小・中学校 PTA 連合会の運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。そして「第48回日本PTA関東ブロック研究大会」がこの茨城の地で開催され、スタッフとして多大なるご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。お陰様をもちまして第2分科会、全体会ともに良い研究発表が行われたと思います。たいへんありがとうございました。

このように規模の大きな研究会は、例年行っております県北地区の指導者研修会よりも、さらに内容も密度の濃い高レベルの研修が受けられます。こういった機会を上手に活用していただいて、研修内容や運営の仕方など、単位PTAにおいても是非取り入れていただければと思います。

さて、過日福島第一原発事故で福島県から自主避難した子どもが、避難先の小学校で「原発」を理由にイジメを受けていたとの報道がありました。その後も新潟県で同様の問題があり、震災による被害者が、避難先でもつらい思いをしていることを知りました。しかしこれは他人事ではなく、無知・無責任・無関心な大人たちが事実を知ろうとせず、被災した福島県に「放射能」と「賠償金」という負のイメージを定着させたためだとの指摘もあります。何げない子どもとの会話も、敏感な子どもたちには本音が伝わってしまいます。そして子どもたちを救う立場にある大人が、何も無かったかのように無視し、隠蔽し、対応できない無力さ。我々保護者は覚悟を持って正面から子どもたちと向き合わなければならないのではないのでしょうか。そのためにPTAは何ができるのか考えて、行動していかなければならないと思います。

次年度より通常の市P連活動に戻ることから、PTA、そして市P連の役割について、あらためて見直す良い機会かと思えます。私は次のように考えます。一つ目は、PTAとは保護者の意見を一つにし、学校の先生方と話し合い、より良い学校環境を作っていく組織であること。二つ目は、保護者や先生が、そのような社会や家庭の問題について勉強していく場であること。そして三つ目は、それぞれ頑張っている各学校の取り組みを皆様に周知して、良いものを自分の学校に取り入れ、日立市全体が良くなるように努めていくコミュニケーションの場だと思えます。このような役割と目的を再確認し、PTA会長だけでなく、実際にPTA活動の中心となっている女性ネットワークの力を終結し、日立市P連を盛り上げていきたいと思えます。



平成28年度スローガンを囲み、市P連メンバー全員集合



常任委員会での討議

市 P 連 事 業 報 告

- 5月14日 平成28年度定期総会
- 5月17日 第1回役員会
- 6月7日 第1回常任委員会
- 6月26日 第1回単P会長会議
- 7月12日 第2回役員会
- 9月6日 第3回役員会
- 10月4日 第4回役員会
- 10月12日 第2回常任委員会

- 10月21~22日 関ブロ茨城大会
- 11月22日 臨時役員会
- 1月11日 第5回役員会
- 1月17日 第3回常任委員会
- 2月21日 第6回役員会

<今後の予定>

- 5月13日 平成29年度定期総会

生涯学習委員会 報告

委員長 竹山広行



今年度の生涯学習委員会は14名のメンバーで、昨年度に引き続きテーマを『PTA活動を考える』と掲げ、未来委員会と連携して「第48回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会(以下、関ブロ大会)」で県北地区が担当する第2分科会【伝統・文化】のスタッフとして大会の運営に協力しました。

第1回未来・生涯学習合同委員会では、関ブロ大会の内容と第2分科会スタッフの内容を説明しました。更に過去3年間の未来委員会及び生涯学習委員会で行ってきた事業を紹介しました。



第2分科会の運営を担当

第2回未来・生涯学習合同委員会では、第2分科会のスタッフ役割分担を行うとともに、委員会の皆さんから関ブロ大会第2分科会の魅力をたくさんの方に伝えていただくため、第2分科会活動発表の常陸太田市立金砂郷小学校の「金砂田楽舞」について、金砂郷小PTA会長の椎名賢様をお招きし、その魅力についてお話していただきました。同じく、第2分科会活動発表の日立市立十王中学校の「十王鶴鳥舞」について、情報委員会井澤委員長が撮影された鶴鳥舞のビデオを観賞し、志摩顧問からその魅力についてお話していただきました。

関ブロ大会直前に行った第3回未来・生涯学習合同委員会ではスタッフ各班で各責任者より具体的な内容について伝達を行って詳細な打ち合わせをしたこともあり、大会に向けての士気が大きく高まりました。

10月21日(金曜日)関ブロ大会第2分科会当日は平日にもかかわらず委員会メンバー全員がスタッフとして参加してくれました。皆さんのご協力もあり大会は盛況のうちに終わることができました。ありがとうございました。来場された方々と、私たちの心に残る素晴らしい関ブロ大会となったのではないかと考えております。

最後になりますが一年間、生涯学習委員会のメンバーをはじめ、多くの皆様にたくさんのご協力を賜り、楽しく活動することができました。ありがとうございました。



関ブロ大会運営の共通理解を深めました



スタッフ全員が心を一つにして取り組みました



活動状況

- 6月26日 第1回合同委員会
- 7月26日 第2回合同委員会
- 10月12日 第3回合同委員会
- 10月21~22日 関ブロ茨城大会
(第2回単P会長会議)

未来委員会 報告

委員長 有金重幸



今年度の未来委員会は、15名のメンバーで『PTA から得る子育て』をテーマに活動してまいりました。事業内容については、生涯学習委員会と合同で、10月21日から22日の2日間にわたって開催されました「第48回日本PTA 関東ブロック研究大会茨城大会(以下、関ブロ大会)」の運営協力が中心となりました。

合同委員会では、関ブロ大会に向けて委員会メンバーの士気高揚を図るため、第2分科会で発表される2つのアトラクション「金砂田楽舞」と「十王鶴鳥舞」について代表の方々からご説明をいただきました。またスタッフの役割分担について「おもてなしの心」を念頭に、各担当班ごとに綿密な打合せを行いました。

「歴史と未来が息づく常陸国から伝えたい願い伝わる想い～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～」をスローガンに掲げ、盛大に実施されました関ブロ大会では、初日の8会場で開催されました分科会、また2日目の全体会と2日間で、延べ5,498名の会員の方が参加し、PTA 活動の推進と課題について熱心な協議や、常陸大宮市立大宮北小学校による、江戸時代から続く「子ども歌舞伎」の披露、西成活裕氏による記念講演等々、とても充実した素晴らしい大会になりました。

この大会を通じまして、いま課題とされていることをあらためて感じることができましたし、情報共有の中で互いに協力し合い解決していかなければならないのかなと考えさせられました。ご参加いただいた委員会の方々お疲れ様でした。

最後に、初の委員長という大役で、委員会のメンバーの方々にはご迷惑をお掛け致しましたが、メンバーの皆様のご協力や小野会長をはじめ、役員の皆様の支えにより無事に一年間を終えることができますことに心から感謝申し上げます。



来場者を「おもてなし」



合同委員会では役割班ごとに打合せ



第2分科会のスタッフ全員で記念撮影

活動状況

- 6月26日 第1回合同委員会
- 7月26日 第2回合同委員会
- 10月12日 第3回合同委員会
- 10月21～22日 関ブロ茨城大会
(第2回単P会長会議)



情報委員会 報告

委員長 井澤利光



平成 28 年度の情報委員会は、委員 10 名、常任委員 3 名、幹事局員 1 名と私を含めた 15 名で務めさせていただきました。1 年間を振り返ってみますと、『**単 P との情報**の架け橋』とした今年の活動テーマに則し、年 4 回の情報委員会では意見交換を毎回行い、各学校や地域の活動が各委員から紹介され、とても刺激を受けました。それらの意見交換の内容を、前年度から本格的な運用を始めた市 P 連ブログの継続に役立ててきました。

ブログの投稿は情報委員会内に留まらず、他委員会の方々からも PTA 活動の様子を寄せていただきました。市内各校の特色ある活動や、長年地道に続けてこられた活動、新たに始まった活動、地域と連携した活動などを随時ご紹介することができました。これらブログの話題を見ると、どの活動においても PTA 活動は大変ですが、子どもたちとのふれあいができていて充実感が読み取れ、次の世代の PTA 活動に繋がると思いました。

さらに、昨年度まで情報委員会において確立してきたホームページの更新作業や、広報紙『みらい』の発行を継承することもできました。今年度発行の『みらい第 43 号』は、部数は少ないのですが、各学校へ印刷して配布することができました。お忙しい中、ブログや広報紙に寄稿していただきました皆様、ありがとうございました。

最後になりますが、情報委員会のメンバーをはじめ多くの皆様にたくさんご協力していただき、共に活動を通して触れあえました。1 年間ありがとうございました。



PTA 活動の投稿で活気づくブログ



関ブロ大会でみらい 42 号を配布



ホームページや広報紙について
いろいろなアイデアが提案されました

日立市 P 連ホームページはお役立ち情報が満載！ぜひご覧ください

“日立市 P 連”で検索ボタンをクリック！

URLはこちら ↓

http://www.net1.jway.ne.jp/pta_info/
<http://shi-p-ren.blogspot.jp/>(ブログ)

活動状況

- 6月26日 第1回委員会
- 8月3日 第2回委員会
- 11月25日 第3回委員会
- 2月8日 第4回委員会
- 3月1日 広報紙みらい43号発行

母親委員会 報告

委員長 根本衣美子



今年度の母親委員会は『一度きりの子育て、楽しまなくちゃもったいない』をテーマに掲げ、4回の委員会活動を45名で行いました。

第1回委員会は、「お弁当の日」の活動事例の紹介とグループディスカッション。

「PTA活動」「ケータイ・スマホ問題」「子育て」をテーマに、活発な意見交換ができました。

第2回委員会は、多肉植物の寄せ植えに挑戦。彩り豊かで形もさまざまな多肉植物を贅沢に使い、それぞれ思い思いの作品を完成させました。グループディスカッションでは、「日立市の子ども政策」「給食事業」について



艶やかな多肉植物に興味津々

で討論し、多くの意見や要望が挙がりました。これらの意見は、「日立市子ども・子育て会議」等にて、提言させていただきました。

第3回委員会は、10月29日に開催された「男女共同参画をすすめるついで2016」への参加を兼ねて実施。第4回委員会は、ファシリテーターの役割について、グループディスカッションを実践しながら学びました。今後、このノウハウを各単Pでの活動に役立てていただければ嬉しいです。また、継続事業の「お弁当の日」の活動は、昨年度より4校多い16校が独自のスタイルで実施し、各校とも好評を得ています。次年度以降も引き続き、この活動を応援していきたいと思います。



研修会で学んだスキルを実践

緊張の中スタートした委員会が、あっという間にたくさんの会話と笑顔に包まれる様子を目の当たりにし、委員の方々の能力と意識の高さに感動し、驚くばかりの1年でした。母親委員会は、市内40校のお母さんたちの情報交換の絶好の場です。この出会いが、さまざまな形で展開していくことを願っております。期間限定の子育てだからこそ、楽しみましょう。母親委員会活動にご支援・ご協力いただいた皆さん、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。



盛り上がるグループディスカッション



関ブロ茨城大会ではスタッフを務めました



活動状況

- 6月26日 第1回委員会
- 9月5日 第2回委員会
- 10月29日 第3回委員会
- 1月19日 第4回委員会

第48回日本PTA

関東ブロック研究大会

茨城大会 参加報告

市立小・中学校PTA連合会

とき 平成28年10月21日(金)～22日(土)

豊浦小学校 PTA 会長 木村雅史



『歴史と未来が息づく常陸国から伝えたい願い 伝わる思い
～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～』を大会スローガンとして、
第48回日本PTA関東ブロック研究大会が15年ぶりに、ここ
茨城の地において開催されました。私は2日間、関ブロ大会の
スタッフとして参加しました。

初日の分科会は県内8箇所で開催され、日立市P連は東
海文化センターで開催された第2分科会(伝統文化)の運営を
担当しました。分科会では1000年の歴史を持つ常陸太田市
金砂郷小学校の「金砂田楽舞」と、日立市を代表して十王中学校の「十王鶉鳥舞」が発表されました。古くから残る
“舞”と、これから歴史に残そうと地域みんなで作り上げていく“舞”とで対照的ではありましたが、子どもたちの一生懸命
に取り組む姿にとっても感動しました。

事例発表では、さいたま市貝沼区で、ある時期から途絶えてしまった150年の歴史あるお祭りを5年前に地域、
小・中学校、PTAが一体となって復活させた活動の報告がありました。

その後、女流講師の一龍斎貞弥氏による「二孝女物語」が披露され、古くから伝わる歴史話を独特の語り口で
の講談を楽しく聞くことができました。

2日目の全体会は、ひたちなか市総合運動公園総合体育館で開催されました。全体会では、大会宣言が決議さ
れた後、常陸大宮市立大宮北小学校の「子ども歌舞伎」の披露と、土浦出身で東京大学先端科学技術センター
教授の西成活裕氏による記念講演が行われました。

今回この大会に参加し、私たちの身近には古くから伝わる素晴らしい伝統芸能などが数多く残っていることを再発
見することができ、**これからも末永く残し続けていくことの大切さ**を、あらためて感じる事ができた2日間でした。



十王中による伝統文化「十王鶉鳥舞」



全体会には多数の方々にご参加いただきました

大久保中さくらプロジェクト

大久保中学校 PTA 会長 岩崎健一

大久保中学校は、創立 50 周年を迎えた平成 23 年に校舎が新しく生まれ変わりました。しかし新校舎の建設によって校庭の桜の木はなくなり、裏庭に 1 本のソメイヨシノだけが残ったことから、創立 50 周年実行委員会は、再び中学校に木々を植えようと、校門前に「しだれ桜」を記念植樹し、大久保中学校の 50 年の歴史とこれからの子どもたちの未来を見守ってくれるようにと願いました。そして、ふるさと「さくらのまち日立」にふさわしい自然環境で学び、健やかな 3 年間の中学校時代を過ごして巣立ってほしいとの願いをこめて、「大久保中さくらプロジェクト」を設立し、60 周年までの 10 年間に桜の植樹を毎年 3 月の卒業シーズンに合わせて行うことにしました。



第 1 期植樹式の様子

震災の平成 23 年 3 月に植樹予定であった「しだれ桜」を、その年の秋に延期して植えたことを第 1 期とし、その後も「大漁桜」5 本、八重桜の代表「関山」2 本、「河津桜」1 本、「十月桜」1 本を卒業する 3 年生や先生方と共に植樹しました。毎年、さまざまな品種を植樹することで開花の時期が違い、1 年を通して桜の花が楽しめるようにしています。

また本プロジェクトは植樹だけではなく、しだれ桜に土砂流入防止サークルを施行したり、草刈りや支柱の調整など、年に数回のメンテナンスを定期的の実施し、桜の成長を見守っています。桜も卒業生も大きく育つことを願って、今後も大久保中さくらプロジェクトは活動をしたいと考えています。

～いつの日か、さくら咲く花いっぱいの大久保中学校になることを夢見て～



心を込めてお手入れをしています



シンボリック存在のしだれ桜

大久保中学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/ookubo-j/>

海の町に生きる者として

河原子小学校 PTA 代表 川崎修

河原子小学校は海から約 300m 立地にあり、「快水浴場 100 選」にも選ばれている美しい町で私たちは、まさに海の町に生きています。6 年前、その海が表情を変えました。東日本大震災です。5m の津波が到達し、私の生まれ育った町が破壊されました。私はやり場のない悔しさに涙を流しました。

時が経ち、当時の記憶のない子どもたちも増え、何かをできないか思い悩んでいた折に、河原子学区コミュニティ推進会より防災講演会の話をいただき“飛びつき”ました。海は楽しいことがたくさんあります。天候等で荒れることもあります。さらにその想定を超えることがあります。それらを子どもたちに伝えられると思いました。



東日本大震災で津波が押し寄せました



渡邊真龍氏による講演

防災講演会は、元釜石小学校校長 渡邊真龍氏と地元出身アナウンサー薄井しお里氏を招き、土曜授業として行いました。薄井氏には、読み聞かせとして津波を題材にした昔話「稲むらの火」の朗読と、低学年向けに紙芝居をしていただきました。児童は迫真の朗読に目を丸くしながら真剣に聞いておりました。また渡邊氏には、演台「釜石の奇跡」の教訓で講演いただき、釜石の奇跡と言われた当時の話や河原子地区の取材に基づき、地域の危険箇所及び防災対策についても講演いただきました。

今回の防災講演会を終えて、約 600 名の方々にご参加いただき、児童、保護者、地域の皆様の反響も大きく、防災講演会を開催できたことが良かったと思いました。

「**私たちは海の町に生きています**」このことをあらためて認識し、微力ながら防災へ取り組むための手助けができたと思っています。



薄井しお里氏の朗読に聞き入る参加者



笑顔あふれる安全な町づくりをめざして

河原子小学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/kawarago-e/>

「やまびこフェスティバル」の さらなる充実をめざして！

山部小学校 PTA 会長 安島絵美



児童による合唱発表

山部小学校は日立市の北部に位置し、周囲を山や田畑に囲まれ自然豊かな環境に恵まれています。三世代家族が多く、家庭は学校や地域と協力的に取り組んでいます。児童数や家庭数は年々減少傾向ですが、PTAは「**山部の子どもたちのために**」をモットーに、学校と地域と手を取り合い協力し合って楽しく活動しています。

山部小学校ではPTAと地域が協力する行事の一つとして「やまびこフェスティバル」があります。この行事は、毎年11月に子どもと保護者、祖父母等の三世代と一緒に楽しめる行事として始まりました。3年前から地域の方々を積極的に招待し、学校とPTA、地域が一同に会する行事となり、以前よりも多数の方々が山部小に訪れるようになりました。

前半は子どもたちの発表会で、学習発表会、そして全児童による合唱発表があり、多くの保護者や地域の方々に感動を与え、好評を得ました。

後半の「ふれあいタイム」ではPTAが主体となって「竹とんぼ作り」を行いました。一緒に作り、一緒に遊び、交流を深めました。自作の竹とんぼは大切なお土産になりました。竹の削り方や竹とんぼの飛ばし方では、周りの大人が積極的に“先生”になって、子どもたちに優しく教えている様子が見られ、微笑ましい様子でした。他にも駒やけん玉、お手玉など盛りだくさんで、あっという間の時間でした。



1・2年生による国語の劇

これからも学校と手を取り合い、やまびこフェスティバルを充実・発展させていきたいと思います。



竹とんぼ作りに、子どもも大人も夢中



飛ば！竹とんぼ

山部小学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/yamabe-e/>

第64回日本P T A全国研究大会 徳島うずしお大会参加報告

とき 平成 28 年 8 月 20 日(土)～21 日(日)

今回、私は市 P 連代表として初めて全国大会に参加しました。県内からは 50 名近くが同行しました。大会スローガンは『徳島発！渦巻く力をこれからの社会に巣立つ子どもたちのために～まけまけいっぱい愛を注ぎ込もう！～』と



鳴門大橋とうずしお

され、うずしおの渦巻きと、徳島名産すだちの語呂を合わせたスローガンです。前日の 8 月 19 日(金)から茨城空港を出発し、神戸から徳島入り、20 日は特別第 2 分科会を聴講しました。テーマは「地域防災を支えるひとづくり～震災から学ぶ家庭・学校・地域のパートナーシップ～」ということで、岩手県山田町教育委員会 箱山智美氏が基調講演を行いました。

講師が一番伝えたかったこと、それは、人と人とのつながりが最大の防災であるということでした。陸の孤島となった大槌

町においては、いち早くチームができ、役割分担ができ、支援が来るまでの間、そして支援が始まって仮設住宅ができるまで、混乱無く避難生活ができたということでした。

もちろん、災害が起こった「その時」においては、主体的な判断と行動力が大事です。ただ、その後の段階ではリーダー経験者が多い地域は良くまとまる気がします。リーダーや幹事経験をする、強引に意見を押し通すことなく、適切なリーダーの指示に従い、何かの時には助言をして補助していきます。まさに大槌町はそのような地域なのだと思います。

日立市においても、P T A 活動として、そのような子どもたちを育てる手助けをしていければと思いました。

日立市 P 連 会長 小野智久

8 月 20 日(土)に開催された分科会から参加しました。全国大会は 2 回目の参加ですが、私の出身地での開催であり、特に第 4 分科会は、私が通った中学校に隣接する公民館で開催され、感慨深いものとなりました。

第 4 分科会「人権教育」基調講演の一人芝居「君をいじめから守る」は、福永宅司さんのいじめる側、いじめられる側に立った子どもの表現が胸に突き刺さりました。子どもたちを守る大人の決意と連携が求められます。そして、小学校と幼稚園の PTA 会長から、市町村合併で吉野川市となった平成 17 年から続く人権教育の取組みが報告されました。しかし、実は私が中学生だった昭和 54 年にその端を発しています。中学 3 年生の時には、全国大会を開きました。前年に退職を迎えていた当時の校長先生は、1 年の延長を教育委員会に掛け合い(退職金半分でもいいからと言ったとか)、私たちと卒業を同じくしました。私たちの親世代とも意見を戦わせながら、差別と闘った先生でした。その活動が、命を守る活動へと広がりながら今日まで続いていることに感動し、また支えてこられた地域の方々や同じ P T A の方々に深く、深く感謝の気持ちが湧いてきました。

この日から茨城県本体と合流し、小野会長や県内の皆さんとも瀬戸内の料理と温泉(なぜか宿泊は淡路島)で懇親を深めました。全体会での阿波踊りも素敵で、まけまけいっぱいの熱い思いが詰まった徳島うずしお大会でした。

皆さん！来年は、仙台ですよ！



県北 P 連の仲間たちと共に

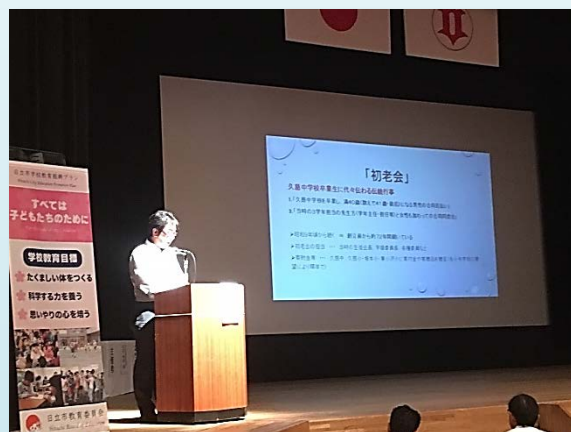
日立市 P 連 顧問 志摩邦雄

日立市教育振興大会 発表報告

久慈中学校 PTA 会長 橘恒弘

8月3日(水)に開催された日立市教育振興大会において、『特色ある久慈中学校～その活動と伝統～』と題し、私たちが取り組んできた久慈中学校のPTA活動について発表しました。以下、その一部を紹介いたします。

生徒の交通安全・防犯対策のため、地域コミュニティセンターの車両を使用して、地域の皆様・先生方・保護者が連携し、下校時や長期休業中の学区内車両パトロールを実施しています。また、元気にあいさつできる生徒の育成を目指し、6月・11月に、生徒、保護者、地域の方も参加してのあいさつ運動を実施しています。さらに、生徒の健全な生活推進のため、生徒から生活標語を募集し、立て看板を作成し地域に設置しています。



久慈中 PTA による発表

久慈中学校卒業生に代々伝わる行事「初老会」

久慈中学校のある久慈浜地区には代々、「久慈中学校を卒業し、満40歳(数えて41歳・前厄)になる男性は合同で厄払いする」という久慈中学校創立前から約72年続く行事があります。初老会の行事には大きなイベントが2つあります。ひとつは男性陣の合同厄払い。もうひとつは女性陣も加わっての合同同窓会です。もちろん、当時3年次の担任の先生もご招待します。

さて、なぜ直接的なPTA活動ではない「初老会」のことを紹介したかといいますと、この初老会はその後のPTA活動に大いに貢献してくれるからです。もともと久慈中学校を母校とする親が多く、中学生の親世代は初老会開催の数年後と一致します。中学生の親となり、母校久慈中学校のPTA活動に参加するにあたり、ある程度スムーズにPTA活動に参加できるということになります。このように友とのつながりを大切に、地元を大切に、母校を敬愛する行事は、この先も途切れることなく続くことを願っております。

生活標語の立て看板



初老会での「合同厄払い」(大甕倭文神宮)



久慈中学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/kuji-j/>

PTAとの連携について

日立市教頭会 会長 青山俊明



日立市立小・中学校 PTA 連合会の皆様には、日頃からたいへんお世話になり、感謝申し上げます。

PTA は、親と教師とが協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、子どもたちの健全な成長を図ることを目的としてっていると聞いております。現在、子どもたちの学校生活をさらに充実させるためには、PTA の支援がとても大切になっております。また、子どもを取り巻く多くの課題に、学校だけでは十分に対処できなくなっており、家庭・学校、さらに地域社会との連携による取組みがますます重要になってきております。

さて、ここで本校河原子小 PTA の本年度のすばらしい活動の 1 つを紹介させていただきます。地域総合防災訓練において、PTA と地域が一体となって、県 PTA 補助金等を活用して、渡邊真龍氏「釜石の奇跡」の講演、薄井しお里氏の「稲村の火」他の読み聞かせを実施しました。計画の段階から何度も協議し、入念に準備を進めました。当日は体育館に、地域の方、保護者、小中学生約 600 名が集まり、PTA 役員が司会・進行を務め、盛大に開催されました。

最後に、児童数の減少や生活様式等の変化により、PTA 組織の維持及び活動に苦労しているという話を伺っています。変化の激しい時代ですが、子どもたちの笑顔のため、保護者と教師が協力し合い共に励んでいきたいと思います。

茨 P 連女性ネットワーク委員会 研修会参加報告

とき 平成 28 年 7 月 13 日(水)

会場 水戸生涯学習センター

幹事局 村井悦子(諏訪小)

今年度の研修会は、『子育てに関する悩みとその解決策』というテーマでグループディスカッションが行われました。日立市 P 連母親委員会からは 2 名が参加し、県内各地区から集まった女性ネットワーク委員の方々と活発な意見交換をし、交流を深めることができ、たいへん有意義な研修会となりました。

また今回の研修会は、ファシリテーター(進行役)の役割を学ぶ場でもありました。ファシリテーターの導きで、大きなテーマから議題を一つに絞り、深い議論に移行させ、参加者の意見を引き出す方法は、様々な場面で役立つのではないかと思います。

早速、第 4 回母親委員会(1 月 19 日)で、この研修会で学んだファシリテーションスキルを活かし、グループディスカッションを行ったところ、予想以上の盛り上がりを見せました。母親委員の方々からの評価も高く、PTA 活動に取り入れてみたいとの感想もいただきました。今回のような県の研修会で学んだスキルを、母親委員会から単 P(各学校)へ発信していくことが、PTA 活動全体の向上につながるのだと再認識しました。今後も委員会活動の中で紹介していきたいと思います。



活発な意見交換が行われました

平成 28 年度茨城県 P T A 振興大会表彰式典

とき 平成 28 年 12 月 3 日(土)

会場 ホテルレイクビュー水戸(水戸市)



優良 P T A 文部科学大臣表彰 (団体)

久慈中学校 P T A

社団法人日本 P T A 全国協議会会長表彰 (団体)

油縄子小学校 P T A

社団法人日本 P T A 全国協議会会長表彰 (個人)

小又和洋さん (茨城県 P T A 連絡協議会 前副会長)

(県北地区 P T A 連絡協議会 前会長)

(河原子中学校父母と先生の会 元会長)



茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰 (団体)

東小沢小学校 P T A

茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰 (個人)

志摩邦雄さん (日立市立小・中学校 P T A 連合会 前会長)

(櫛形小学校父母と先生の会 元会長)



茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰 (永年功労者)

星野修一さん (久慈小学校父母と先生の会 前会長)

勝山起一さん (久慈小学校父母と先生の会 元会長)

真崎静さん (田尻小学校父母と先生の会 会長)

佐藤信彦さん (泉丘中学校 P T A 前会長)



第 25 回茨城県 P T A 広報紙コンクール 入選

櫛形小学校父母と先生の会「くしがた」

大久保小学校父母と先生の会「おおくぼ」

受賞おめでとうございます

平成 28 年度 日立市立小・中学校 P T A 連合会入ローガン

子育てに二度なし

編集後記

このたびの広報紙の発行にあたり、多くの皆様に多大なご支援・ご協力をいただきました。情報委員一同、心より感謝申し上げます。これからも皆様に親しまれる「広報紙みらい」を目指して参ります。(情報委員会)